

工事店・電器店様へのお願い

この取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

はじめに

この器具をご使用になる前に、必ず本説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を充分にご理解ください。

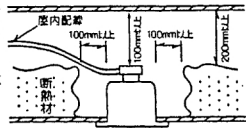
安全上のご注意

警告

- 納入仕様書がある場合には同書にもとづき施工してください。また、下記のような特殊な環境には使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
 - 周囲温度が20±15°を越える場所。
 - 粉じんが多い場所、振動が激しい場所、機械内、家具内。
 - 可燃性ガス、腐食性ガス等の発生する場所。(炭鉱内、海岸地区、温泉地区、重工業地区等)
 - 器具取付面に結露が発生する場所。
 - 手術室等の無菌室。
 使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、お問合せください。
- 交流電源をご使用ください。また、電源周波数は器具銘板に従って正しく使用してください。感電・火災の原因になります。(インバータおよび白熱灯器具は50Hz・60Hz共用です。)
- 電源電圧は、器具銘板に記載されている電圧±6%内でご使用ください。ランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し感電・火災の原因になります。
- 三相四線、単相三線式の配線下で使用する場合には、負荷のバランスをとり、ブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のもをご使用ください。焼損の原因になります。
- 電動機等を使用する電源回路には、器具を接続しないでください。高調波と過度の電圧変動により、焼損・不点の原因になります。
- 火気等の近くでは、使用しないでください。落下・感電・焼損の原因になります。
- 空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
- 取付けの際は、器具各部にヒビ、割れ、カケ等の異常がないことをご確認のうえご使用ください。落下の原因になります。
- 屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かすが、造営物・ダクトに直接触れないように施工してください。感電・火災の原因になります。

警告

- 配線部品を使用する場合は、破損していないことを確認のうえ使用してください。落下・損傷の原因になります。
- 取付方向は、器具本体表示に従って正しく施工してください。感電・火災・ケガの原因になります。
- 被照射面までの距離は、器具本体表示に従って施工してください。被照射物の変質・変色または火災の原因になります。
- (天井埋込形器具の場合) 断熱施工の天井内に使用する場合には、下記の施工が必要です。誤った施工をしますと、火災の原因になります。
 - 屋内配線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
 - 断熱材・防音材で、器具本体の放熱穴をふさがないでください。
 - 断熱材・防音材・天井材と器具は、100mm以上離してください。
 - 断熱材、防音材の上部は最低200mm必要です。
- 本ネジによる器具取付けは下記のように行ってください。誤った施工をしますと、落下の原因になります。
 - 取付部の強度が弱い場合には、補強材で補強してください。
 - 取付部、補強材の材質は、杉、またはこれと同等以上の強度を有するものをご使用ください。
 - 取付部、補強材へのネジ埋込寸法は、20mm以上となるように取付けてください。
 - 器具は補強材の板目、柾目面に取付けてください。
 - 既に使用されたネジ穴の再利用は、しないでください。
- ボルトによる器具取付けは下記のように行ってください。誤った施工をしますと、落下の原因になります。
 - 釣木等で補強された野縁、またはこれと同等以上の強度・構造を有する場所に施工してください。
 - 取付用ボルト1本で施工する場合には、さらに木ネジで回転止めを行ってください。
 - 取付用ボルトの出しろは適切に施工してください。
- ボールの設置の際には、設置部の強度を確認し、水抜き工事を行ってください。土質が柔らかい場合には、埋込部をコンクリート等で補強してください。施工が不適切ですと、絶縁不良・転倒の原因になります。
- 器具の改造、部品の変更は行わないでください。落下・感電・火災等の原因になります。



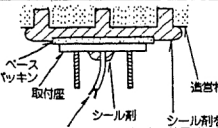
警告

- 濡れた手で器具を操作しないでください。感電・故障の原因になります。
- 多灯用器具を間引き点灯して使用しないでください。感電・焼損の原因になります。
- 器具に他の荷重をかけないでください。落下・感電・焼損の原因になります。
- 器具を布や紙等の可燃物で覆わないでください。また、燃えやすい物を近づけたり、異物を差込んだりしないでください。落下・感電・火災の原因になります。
- 安全機構が付加されている場合は、必ず使用してください。落下・感電・火災の原因になります。
- ランプ交換やお手入れの際は、電源を切ってください。感電の原因になります。
- 煙・臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。感電・火災の原因になります。 (器具の温度を触らないでください)



注意

- 電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- 防水形の器具取付面は、ベースパッキンの大きき以上の平らな面に仕上げてください。感電・火災の原因になります。
- 器具、部品の取付け状態および点灯状態に異常がないことを確認のうえご使用ください。落下・感電・火災の原因になります。
- 器具や部品の取扱いは丁寧に行ってください。落下・破損の原因になります。
- ランプの取扱いは丁寧に行ってください。特に着脱の際は、ランプホルダーやランプ支持バネ等で強く弾かないでください。ランプの落下・破裂・破損の原因になります。
- 照明器具には寿命があり、照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態においては、約8~10年です。外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。器具本体表示または本説明書に従って、6か月に1回定期的に保守・点検を行ってください。また、3~5年に1回は有資格者に点検を依頼してください。点検を行わずに長時間使用しますと、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。一般的な使用条件に比べて周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1 解説による。)
- 点灯中や消灯直後のランプや器具は高温になっていますので、手を触れないでください。火傷の原因になります。



注意

- 部品交換の際は、器具本体表示に記載されたもの以外は、使用しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
- 黒化したり、チラツキがでたランプは、新しいものと交換してください。焼損の原因になります。
- 器具、ランプの汚れは、乾いた布等で拭き取ってください。水洗いをしますと、感電・故障の原因になります。



おことわり

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因になります。
- インバータ器具の近くで、ラジオ(AM)を使用しないでください。雑音の原因になります。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分ですと、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因になります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因になります。
- 点灯時、消灯後は、若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。(樹脂カバー使用器具の場合)
- 安定器の鉄芯の振動で若干のうなり音が発生しますが、異常ではありません。(インバータ器具・白熱灯器具を除く)

保守・点検

- 6か月に1回程度、清掃および点検を行うことをおすすめします。不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。
- 【器具の清掃について】 汚れを落とす場合は、30℃~40℃で薄めた中性洗剤をひたした柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変質の原因になります。

商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問い合わせ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは下記の相談窓口までご連絡ください。

ゴールドキング株式会社

本社	〒454-0912	名古屋市中川区野田1-380	052-352-2421
名古屋営業所	〒454-0912	名古屋市中川区野田1-380	052-354-7331
桑名工場	〒511-0252	三重県員弁郡東員町大字瀬古泉	0594-76-6721
東京営業所	〒111-0056	東京都台東区小島2-14-1	03-3861-5851
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町3-9-4	022-232-1458
北陸営業所	〒939-8042	富山市太田宇中田114-16	076-493-8778
大阪営業所	〒579-8026	東大阪市弥生町4-29	072-985-7491
九州営業所	〒815-0031	福岡市南区清水1-16-14	092-561-1707